

特別活動（学級活動） 福祉講話「手話」

大和市立光丘中学校



単元（題材）目標

聴覚に障がいのある方の話を聞き、障がいのある方の気持ちに寄り添い理解し、共生の心を育て、思いやりを持って接しようとする態度・行動を育成する。

(1) 実施時期 3月初旬

(2) 対象（学年等・人数）

第3学年生徒 301名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第3学年所属 15名

外部講師：大和市聴覚障害者協会 8名

大和市手話通訳者の会 8名



(4) 実施内容

①委員会の生徒による講師案内

- ・福祉委員の生徒が講師を会場へ案内し、コミュニケーションを図った。

②手話体験：各学級で講話・手話実践

- ・各学級を聴覚障害者協会講師1名、手話通訳者1名が講師として担当していただいた。
- ・簡単な手話の講演を受け、手話に関する基本的知識を学び、その後実際にあいさつや自分の名前、漢字の形などの手話を体験した。
- ・指文字による五十音の表し方を学び、実際に体験した。

☆手話を使うときは、言葉を言いながら手話をするように指導した。

(5) 成果

- 生徒は、手話や指文字の存在は知っていたが、実際に講話で手話を体験することで、聴覚障がい者に対する理解をより深めることができた。
- 音声以外のコミュニケーション手段により、聴覚障がい者との接し方について理解を深めることができた。
- 生徒の感想として「あいさつや名前の伝え方を知ることができた。」や、「英語や他の言語のようにコミュニケーションをとる手段だと感じた。」などがあつた。

(6) その他

- 毎年、卒業期に開催することによって、3年間の福祉に関する学習の振り返りとなり、講話を聞き、より深く理解することができた。